

- 問1 1950年代後半から続いていた日本の経済状況は、1970年代前半のある出来事を境に、高い成長率を維持する時代から、成長を抑えつつ安定を目指す時代へと移行しました。この転換期における日本の産業界の動きとして正しい説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)

1. 公害問題の深刻化を受けて環境庁が設置されたため、すべての工場生産が一時的に停止された

2. エネルギー価格の高騰に対応するため、省資源・省エネルギーを重視した産業構造への転換が進んだ

3. 円高による輸出不振を補うため、政府の主導で軽工業中心の経済へと逆戻りした

4. 重化学工業への集中をさらに強めることで、輸入石油に頼らない工業生産体制を確立した
- 問2 日本の地形に関する学習レポートにおいて、火山活動によって地下のマグマが地上へ噴出した後、地下の空洞が重みに耐えきれず崩落・陥没することで形成された、大規模な鉢状のくぼ地を指す名称として適切なものはどれか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)

1. 扇状地

2. シラス台地

3. カルデラ

4. 三角州
- 問3 那覇を中心とした距離を示す正距方位図法のような状況説明において、那覇から2000キロメートル圏内に中国、ロシア、北朝鮮などが位置している事実は、日本の安全保障政策に深く関わっています。これらの近隣諸国が共通してもつ軍事的な特徴と、沖縄の状況について正しく述べたものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 沖縄の周辺諸国はすべて防衛費を削減しており、軍事的な地政学的リスクは消滅している。

2. 那覇から2000キロメートル圏内には日本と同盟を結ぶ民主主義国家しか存在しない。

3. 核兵器を保有する複数の国家が近隣に存在しており、沖縄は国防上の重要な拠点となっている。

4. 周辺のすべての国が核兵器を保有していないため、沖縄周辺の軍事的な緊張は解消されている。
- 問4 日本が平和主義に基づき、国の基本方針（国是）として堅持している核兵器に対する姿勢で、「持たず、作らず、持ち込ませず」という三つの原則をまとめた呼称として適切なものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 武器輸出三原則

2. 非核三原則

3. 非核武装宣言

4. 平和三原則
- 問5 イギリスの首都ロンドン郊外などの地域では、情報通信技術（ICT）をはじめとする高度な知識や技術を活用する産業が集積しています。このような、現代の産業構造において中心的な役割を果たす産業を何と呼びますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. 労働集約型産業

2. 伝統的工芸品産業

3. プランテーション

4. 先端技術産業
- 問6 鎌倉時代、東大寺南大門に安置された木造彫刻は、筋肉隆々で写実的な表現がなされており、当時の武士の気風を反映しているとされています。運慶や快慶らが制作した、この力強い彫刻の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 金剛力士像

2. 平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像

3. 弥勒菩薩半跏思惟像

4. 阿弥陀如来像
- 問7 江戸幕府が鎖国の体制を整えるなかで、対外交流を維持した「四つの窓口」について述べたものとして、場所と交渉相手の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 松前藩による、アイヌの人々との交易

2. 対馬藩による、琉球王国を介した清との交渉

3. 薩摩藩による、朝鮮王朝からの通信使の受け入れ

4. 長崎の出島による、イギリス人やフランス人との貿易
- 問8 第二次世界大戦後の日本の民主化政策において、連合国軍総司令部（GHQ）の指示により実施された、農村の土地所有の仕組みを根本から変えた改革を何といいますか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 殖産興業

2. 国家総動員法

3. 地租改正

4. 農地改革
- 問9 日本の伝統文化が成立・大成した時期と、それに関わった人物や文化の組み合わせについて、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）

2. 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）

3. 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）

4. 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）
- 問10 八世紀後半の東大寺の荘園を示す絵図において、土地は格子状に整然と区画されており、その区画は現代の地形図に見られる田の境界線とも一致しています。このような、当時行われていた土地の区画制度を何といいますか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 地租改正

2. 条里制

3. 検地

4. 班田制
- 問11 東北地方の拠点として栄えた平泉の文化や、中尊寺金色堂を建立した奥州藤原氏に関する説明として正しいものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)

1. 飛鳥地方の建築技術を導入し、法隆寺の建立に協力した勢力の子孫である。

2. 藤原清衡が、戦乱のない平和な社会を願って黄金をふんだんに使った堂を建立した。

3. 鎌倉時代に広まった禅宗の教えを基に、質実剛健な文化を東北の地に根付かせた。

4. 雪舟の描く水墨画の技法を取り入れた庭園を各地に造営し、武家文化の発展に貢献した。
- 問12 日本の太平洋側に位置する三陸沖の海域では、北から流れてくる寒流と、南から流れてくる暖流がぶつかり合っています。この海域において、北から南下してくる寒流の名称と、その別名の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. リマン海流

2. 親潮（千島海流）

3. 黒潮（日本海流）

4. 対馬海流
- 問13 茨城県つくば市の大部分で見られるような、火山灰の堆積によってできた赤土が広がる台地の性質と、土地利用について述べた文として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

1. 水持ちが良いため、広大な水田が開発され、日本有数の稲作地帯となっている。

2. 水はけが良いため、古くから畑作が行われたり、平地林として利用されたりしてきた。

3. 土壌に塩分を多く含むため、干拓地として開発され、現在は工業用地となっている。

4. 保水力が低いため、大規模な灌漑施設を整備することで主に稲作が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 エネルギー価格の高騰に対応するため、省資源・省エネルギーを重視した産業構造への転換が進んだ	石油危機による燃料費の上昇は、それまでの大量生産・大量消費を支えていた重化学工業に大きな打撃を与えました。これを克服するため、日本企業は無駄なエネルギーを省く「省エネ」技術の開発や、知識集約型産業への転換を推し進めました。この努力が後の日本の国際競争力の源泉となりました。なお、環境庁の設置は石油危機以前の1971年であり、マイナス成長の直接のきっかけではありません。
問2	答え 3 カルデラ	火山の爆発的な噴火によって大量のマグマが地上に放出されると、地下に巨大な空洞が生じます。この空洞が崩落することで、通常の火口よりもはるかに大規模な窪地が形成されます。熊本県の阿蘇山や北海道の屈斜路湖などは、この地形の代表的な例として知られています。
問3	答え 3 核兵器を保有する複数の国家が近隣に存在しており、沖縄は国防上の重要な拠点となっている。	沖縄の近隣には、核兵器を保有する中国、ロシア、北朝鮮などが位置しています。このような緊張感のある地理的な配置（地政学的状況）があるため、沖縄には日本の安全保障において重要な役割を果たすために、多くの米軍基地や自衛隊の施設が配置されています。これは、沖縄が東アジアの平和と安定を維持するための「要」としての役割を期待されているためです。
問4	答え 2 非核三原則	世界で唯一の被爆国である日本が、核兵器を持たない、作らない、そして他国からも持ち込まないことを決めた方針です。1971年に国会で決議され、現在も日本の平和主義を象徴する重要な方針として維持されています。
問5	答え 4 先端技術産業	ロンドン郊外などの都市周辺では、大学や研究機関との連携が容易なことから、情報通信技術やバイオテクノロジーといった先端技術産業（ハイテク産業）が発展しています。かつての石炭や鉄鋼を中心とした重工業から、知識集約型の産業構造へと転換が進んだ結果、このような産業の集積が見られるようになりました。
問6	答え 1 金剛力士像	鎌倉時代には、平氏による南都焼討で焼失した東大寺の再建が行われました。その際、運慶や快慶を中心とする慶派の仏師たちが、武士の好む力強く写実的なスタイルで東大寺南大門の金剛力士像を完成させました。選択肢にある阿弥陀如来像は、平安時代後期の優美な貴族文化（国風文化）において多く作られたものです。
問7	答え 1 松前藩による、アイヌの人々との交易	江戸幕府は完全に国を閉ざしていたわけではなく、長崎、対馬、薩摩、松前の四つの場所を窓口として周辺地域や諸外国と交流を続けました。松前藩は蝦夷地（現在の北海道など）のアイヌの人々と交易を行い、対馬藩は朝鮮王朝との外交と貿易を、薩摩藩は琉球王国を介した清との交流を担当しました。また、長崎ではオランダや清（中国）との貿易が行われており、イギリスやフランスとの本格的な貿易は幕末まで行われませんでした。
問8	答え 4 農地改革	戦後の民主化政策の一環として、農村における封建的な土地所有制度を解体するために行われました。政府が地主から土地を強制的に買い上げ、それを実際に耕作していた小作人に安く売り渡すことで、多くの「自作農」が創設されました。
問9	答え 1 観阿弥・世阿弥による能楽の完成（室町時代）→ 千利休によるわび茶の完成（安土桃山時代）→ 近松門左衛門による歌舞伎や人形浄瑠璃の発展（江戸時代）	室町時代に足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥が能楽を大成させ、その後の安土桃山時代には千利休が茶の湯（わび茶）を完成させました。さらに江戸時代になると、近松門左衛門が脚本を手がけたことで、歌舞伎や人形浄瑠璃が庶民の娯楽として大きく発展しました。この時代の流れを把握することが重要です。
問10	答え 2 条里制	古代の日本で行われた土地区画の仕組みを条里制といいます。六町（約650メートル）四方の「里」を基準に、さらに細かく格子状に区画して土地を管理しました。墾田永年私財法によって成立した東大寺などの荘園でもこの仕組みが用いられており、その整然とした区画のなごりは、現在でも日本の各地で水田の境界線として確認することができます。
問11	答え 2 藤原清衡が、戦乱のない平和な社会を願って黄金をふんだんに使った堂を建立した。	初代の藤原清衡は、凄惨な戦乱を経験したことから、仏教の力で平和な国を造ることを目指しました。中尊寺金色堂は、当時の東北地方で産出された豊富な金を背景に造られた平安時代末期の仏教文化を象徴する建造物です。雪舟は室町時代、飛鳥地方の建築は7世紀、禅宗は鎌倉時代以降の文化であり、時代設定が異なります。
問12	答え 2 親潮（千島海流）	日本の太平洋側を南下する寒流は親潮であり、千島列島に沿って流れてくることから千島海流とも呼ばれます。これに対して、低緯度側から北上してくる暖流は黒潮（日本海流）です。三陸沖はこの両者がぶつかる海域として知られています。
問13	答え 2 水はけが良いため、古くから畑作が行われたり、平地林として利用されたりしてきた。	関東ローム層は粒子の間に隙間が多く、水はけが良いという特徴を持っています。そのため、水持ちの良さが求められる稲作には向かず、伝統的に麦や野菜などの畑作、あるいは薪などを得るための平地林（雑木林）として利用されてきた歴史があります。